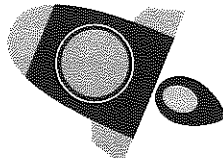


【第414回】

株式会社そごう商店

企業コード：580571058 法人番号：5120101009989
 所在地：大阪府堺市中区深阪1-3-5
 TEL：072-234-0891 設立：1969年4月
 代表：曾根 一希氏 従業員：18名
 事業内容：ゴム練生地の製造、ゴムおよび付属品やゴム薬品の販売
 HP URL：<http://k-sogou.com/>



ビジネス
ランチャー

現在、ゴム製品・タイヤ業界は新型コロナにより工場操業を一時停止するなど大きな影響を受けており、多くの企業が厳しい経営環境に置かれている。そのようななか、「あらゆるゴムのコンサルタント」をスローガンに安定的な業績を維持しているのが、今回ご紹介する(株)そごう商店である。

(株)そごう商店は、1964年に創業し、1969年に法人改組したゴム練生地製造業者。自動車産業の発展により、当社業績も好調に推移し、バブル期には年商10億円規模を誇っていた。

しかし、バブル崩壊以降、リーマン・ショックや東日本大震災を経て、自動車メーカーが部材の調達を海外へシフトさせた影響により、売り上げは減少傾向をたどることとなる。加えて、売り上げ重視の考えが社内に浸透しており、採算度外視の安値受注をするケースも散見され、製造面については職人の個人プレーの側面が強く、作業効率は悪かった。そして、現代表の曾根一希氏が代表に就任した2010年には売り上げ規模はピーク時の半分程度にまで落ち込んでいた。

そこで、現代表は利益重視の方針に転換した。まずは社内の製造効率を高めるため、従来の職人任せの現場から組織的な現場となるべく1カ月に1回の製造会議を開催。ベテランから中堅、若手までが参加して個々の役割分担を明確にし、1日単位で製造目標を立てることで日々の仕事を見える化した。2017年にはISO9001を、2020年にはISO14001を取得し、徐々に不良品発生ロスなどを低減させ短納期対応を可能とした。また、得意先への価格交渉も随時実施することで、売り上げが減少傾向で推移するなかでも収益性は高まっており、筋肉質な体制構築に繋がっている。

ゴム成型業者は大多数が年商1億円未満の小規模業者である。後継者難により外注業者の廃業



代表取締役の曾根一希氏（前列左から2番目）と社員の皆さん

が深刻化するなか、協力会社にも製造会議への参加を促すことで、より結び付きを強固なものにしている。曾根代表は「同志達と一緒に学び、考え、チームそごう商店として事業を継続していきたい。そして社員には生涯働ける職場を提供したい。そのために、協力会社との結びつきを強くし、今後は会社間での人材の異動などを行うことも検討しています」と話す。

ゴムの需要が減少傾向にあり、高齢化による協力会社の廃業など、当社を取り巻く経営環境は決して楽観視できるものではない。しかし、曾根代表は「楽しめ、笑っていればいいことがある」という座右の銘の元、厳しい環境にも立ち向かっている。同氏は「当社は今年で創業57年、設立52年となります。次の50年を生き残り、100年企業を目指すために一番大切なものは人です。たとえ最先端の機械を導入しても、最終的には人の手が必要です。だからこそ、常に笑顔でポジティブに考えることで新たな案を生み出し、社員や協力会社と一体になってチームそごう商店としてこの環境下を戦っていこうと思います」と、笑顔で力強く答えた。

(取材・文/浅井真史)